

経営比較分析表（平成29年度決算）

愛知県名古屋市長 緑市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	20	対象	ド 訓 ガ	救 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
2,288,240	16,675	非該当	7：1	

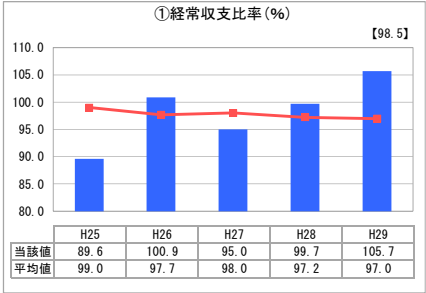
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

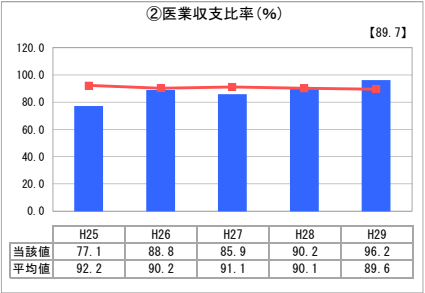
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
300	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	300
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般＋療養）
205	-	205

グラフ凡例
■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 平成29年度全国平均

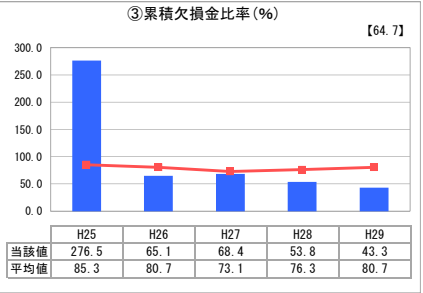
1. 経営の健全性・効率性



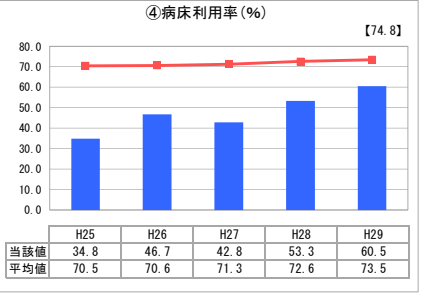
「経常損益」



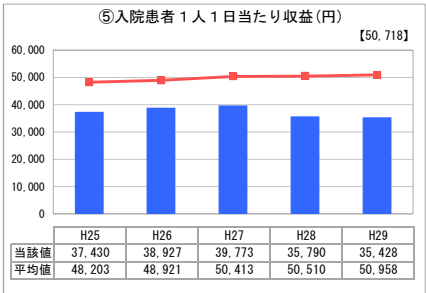
「医業損益」



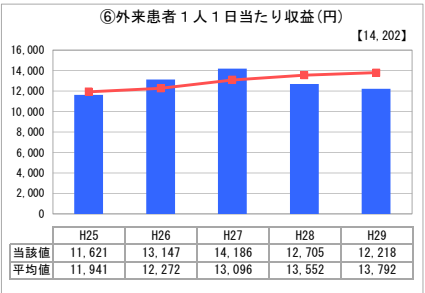
「累積欠損」



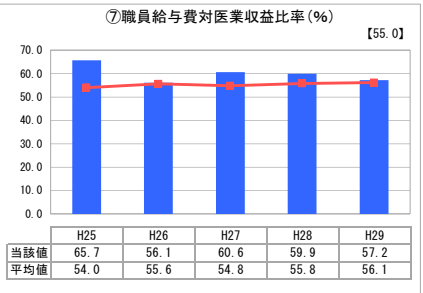
「施設の効率性」



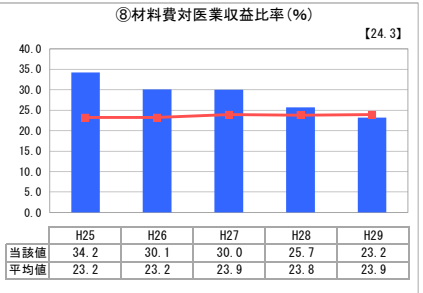
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

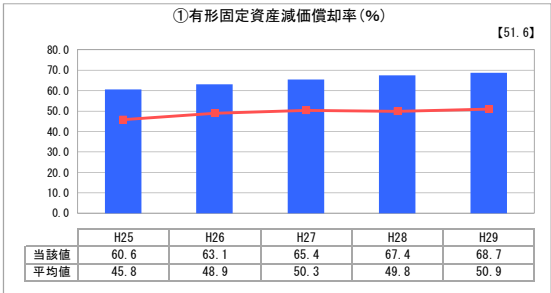


「費用の効率性①」

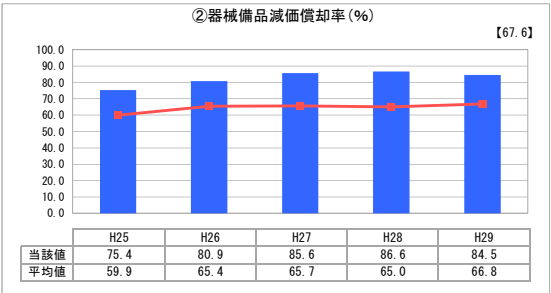


「費用の効率性②」

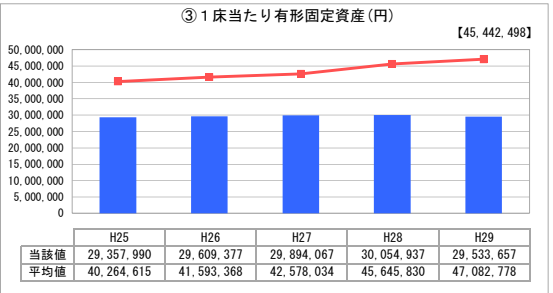
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

I 地域において担っている役割

地域密着型の総合的な病院として、救急搬送受入体制の強化を図り、また放射線治療や外来がん化学療法などの高度・専門医療に取り組んでいる。また、地域包括ケア病棟を運営するなど地域の医療ニーズに合わせた医療を提供している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、改善傾向にあり平成29年度は類似病院平均値を上回り黒字を達成した。また、②医業収支比率も改善傾向にあり平成28年度以降は類似病院平均値を上回っている。③累積欠損金は、改善傾向にあり平成26年度以降は類似病院平均値を下回っている。④病床利用率は、改善傾向にあるものの病床があることから類似病院平均値を下回っている。⑧材料費対医業収益比率は、改善傾向にあり平成29年度は類似病院平均値を下回っている。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率及び②器械備品減価償却率は、類似病院平均値を上回っている。施設及び設備の整備について、具体的な整備の内容を指定管理者と協議の上、毎年度1億円を上限として市が整備費を負担することで老朽化対策を行っている。

全体総括

引き続き、市立病院として地域密着型の総合的な病院の役割を継続し、二次救急医療の積極的な実施、地域のニーズを踏まえた特色ある医療を実施するとともに、災害発生時の市地域防災計画における災害医療活動拠点としての役割を担っていく。